

# 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきます。ご案内いたします。  
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

## 記

### ◆実施日

2021年4月1日(木)ご依頼分より

\*報告書変更(外注項目の報告書変更、細胞性免疫検査報告書変更)は、4月5日(月)ご報告分より  
\*容器変更(容器記号A00、ARR、ASS、AZZ)については4月1日より順次変更させていただきます

### ◆変更項目

●LD (LDH)	●ベプリジル
●アルカリフォスファターゼ (ALP)	●免疫電気泳動〔抗ヒト全血清による同定〕
●ALPアイソザイム	●LD (LDH) アイソザイム
●トリプシン	●末梢血液一般検査
●バンコマイシン	●網状赤血球数
●トロンボモジュリン	●好酸球数
●便中ヘリコバクターピロリ抗原	●血液像
●ループスアンチコアグラント(希釈ラッセル蛇毒時間法)	●尿中一般検査
●C反応性蛋白(CRP) 定量	●エストロゲンレセプター (IHC)
●I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)	●プロゲステロンレセプター (IHC)
●I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) (骨粗鬆症)	●エストロゲンレセプター/プロゲステロンレセプター (IHC)
●クレアチン	●乳癌HER2/neuタンパク(染色法)
●抗セントロメア抗体	●乳癌HER2遺伝子 (FISH)
●特異的IgE (C-PAC16アレルギー) アトピー性皮膚炎用	●胃癌HER2タンパク (IHC)
●ラモトリギン	●HIV抗原・抗体
●トピラマート	●IL28B SNPs 解析
●レベチラセタム	●ハイドロキシプロリン-総



## ◆ 変更項目

検査項目	● 脂肪酸分画 (24成分)	● 高分子量アディポネクチン [CLEIA]
	● 脂肪酸分画 (4成分)	● CK-MB (CPK-MB) (免疫阻止-UV法)
	● IGF-1 (ソマトメジンC) (ECLIA)	● 酸化LDL (MDA-LDL)
	● 副甲状腺ホルモン (PTH) -インタクト	● CA54/61
	● 副甲状腺ホルモン (Whole PTH)	● クラミドフィラ (クラミジア) シッタシ IgG
	● カルシトニン	● クラミドフィラ (クラミジア) シッタシ IgM
	● カテコールアミン総	● 抗IA-2抗体
	● カテコールアミン3分画 A: アドレナリン NA: ノルアドレナリン DA: ドーパミン	● 亜鉛トランスポーター8 (ZnT8) 抗体
	● メタネフリン・ノルメタネフリン分画	● 抗LKM-1抗体
	● HVA (血漿・髄液)	● FLT3変異解析ITD/TKD
	● HVA (酸性蓄尿)	● 糖代謝解析
	● VMA (血漿)	● タウ蛋白
	● VMA (酸性蓄尿)	● 消化状態
	● 5-HIAA (血漿・髄液)	● ミエリン随伴性糖蛋白 (MAG) 自己抗体
	● 5-HIAA (酸性蓄尿)	● LHON ミトコンドリア DNA Evaluation
	● HBV DNA定量 (IU)	● MELAS ミトコンドリア DNA Evaluation
	● HCV RNA定量	● MERRF ミトコンドリア DNA Evaluation
	● HIV-1RNA定量	● NARP ミトコンドリア DNA Evaluation
	● TSH刺激性レセプター抗体 (TSAb)	● 細胞性免疫検査 (一部項目の報告書)
	● 心筋トロポニンT	● 病理組織検査 (一部項目の報告書)
	● sFlt-1	● 甲状腺機能検査 (報告書)
	● PIGF	● 凝固検査 (凝固検査用検体取り扱いについて)
	● PGE-MUM	● 容器 (AOO (旧X)、ARR (旧r)、ASS (旧i)、AZZ (旧z) 使用項目)
	● TSBAb (TSHレセプター抗体[阻害型])	

## ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
0440 7	LD(LDH)	項目コード	X437 0	0440 7	IFCC測定法試薬の変更に伴う、項目コード、項目名称、検査方法、基準値の変更
		項目名称	LD (LDH) IFCC	LD (LDH)	
		検査方法	IFCC 標準化対応法	JSCC 標準化対応法	
		基準値 (単位)	124~222 (U/L)	115~245 (U/L)	
0441 4	アルカリフォスファターゼ (ALP)	項目コード	X436 2	0441 4	IFCC測定法試薬の変更に伴う、項目名称、検査方法、基準値の変更
		項目名称	アルカリフォスファターゼ (ALP) IFCC	アルカリフォスファターゼ (ALP)	
		検査方法	IFCC 標準化対応法	JSCC 標準化対応法	
		基準値 (単位)	38~113 (U/L)	115~359 (U/L)	
0194 2	ALPアイソザイム	項目名称	ALP アイソザイム (IFCC)	ALP アイソザイム	IFCC測定法試薬の変更に伴う、項目名称、基準値、報告範囲の変更
		基準値 (単位)	ALP1 0.0~5.3 ALP2 36.6~69.2 ALP3 25.2~54.2 ALP5 0.0~18.1 (%)	ALP2 36~74 ALP3 25~59 ALP5 0~16 (%)	
		報告範囲	0.0 ~ 100.0	0 ~ 100	
		測定実施場所	エスアールエルMUQS ラボラトリー (&3)	エスアールエル八王子 ラボラトリー	
0117 1	トリプシン	項目コード	0A50 3	0117 1	全自動測定機器対応測定試薬への変更に伴う、項目コード、検査方法、基準値、報告範囲、測定実施場所の変更
		検査方法	ラテックス凝集比濁法	ELISA	
		基準値 (単位)	210~570 (ng/mL)	100~550 (ng/mL)	
		報告範囲	30未満、 30~99900000	50未満、 50~99900000	
		測定実施場所	エスアールエルMUQS ラボラトリー (&3)	エスアールエル八王子 ラボラトリー	
0488 7	バンコマイシン	検査方法	ラテックス凝集比濁法	EIA	測定試薬の変更に伴う、検査方法、報告範囲の変更
		報告範囲 (単位)	2.5未満、 2.5~999999.9 (μg/mL)	4.0未満、 4.0~999999.9 (μg/mL)	
0471 1	トロンボモジュリン	項目コード	0A00 6	0471 1	全自動測定機器対応測定試薬への変更に伴う、項目コード、検査方法、材料、検体量、容器、単位、基準値、報告範囲、案内書備考欄、検体取り扱い方法の変更
		検査方法	CLEIA	EIA	
		材料	血清、血漿	血清	
		検体量 (mL)	血清、血漿 0.4	血清 0.3	
		容器	血清: 変更はありません 血漿: PC2 (旧K) →A00 (旧X)	血清: S09→A00 (旧X)	
		単位	U/mL	FU/mL	

## 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
0471 1	トロンボモジュリン	基準値	血清 12.1~24.9 血漿 8.7~22.7	M 2.1~4.1 F 1.8~3.9	全自動測定機器対応測定試薬への変更に伴う、項目コード、検査方法、材料、検体量、容器、単位、基準値、報告範囲、案内書備考欄、検体取り扱い方法の変更
		報告範囲	5.0未満、 5.0~199、200以上	1.0以下、 1.1~31.9、32.0以上	
		案内書備考欄	血清：(記載なし) 血漿：凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。	(記載なし)	
		検体の取り扱い方法	血漿：3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。血漿は必ず凍結保存してください。(複数の検査項目をご依頼される場合で、採血量が1.8mL以上の場合、PC5の容器をご利用ください。)	(記載なし)	
2887 8	便中ヘリコバクターピロリ抗原	検査方法	EIA	ELISA	国内シェア率の高い測定試薬の変更に伴う、検査方法、容器、案内書備考欄の変更
		容器	F20 (旧d4) ※専用容器が変更となります。	F70 (旧d7)	
		案内書備考欄	必ず専用容器で採取してご提出ください。	必ず専用容器で採取してご提出ください。 凍結保存は避けてください。	
2651 1	ループスアンチコアグラント (希釈ラッセル蛇毒時間法)	基準値	1.2以下	1.3未満	日本血栓止血学会の推奨法であるNormalized Ratioを使用し、同学会の推奨基準値と同等の基準値を採用している測定試薬へ変更
		報告範囲	0.1~99.9 (中和前凝固時間) 16.0未満、16.0~239.9、 240.0以上(秒) (中和後凝固時間) 6.0未満、6.0~120.9、 121.0以上(秒)	0.07以下、0.08~ 14.99、15.00以上 (中和前凝固時間) 10.0以下、10.1~149.9、 150.0以上(秒) (中和後凝固時間) 10.0以下、10.1~149.9、 150.0以上(秒)	
		報告桁数	有効3、整数2、小数1	有効4、整数2、小数2	
5200 7	C反応性蛋白(CRP)定量	項目コード	0A51 1	5200 7	測定試薬の変更に伴う、項目コード、検査方法、基準値、報告範囲の変更
		検査方法	ラテックス凝集比濁法	ラテックス免疫比濁法	
		基準値(単位)	0.14以下(mg/dL)	0.30以下(mg/dL)	
		報告範囲	0.005未満、 0.005~99900000	0.02未満、 0.02~99999.99	

## ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
2273 1	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)	検査方法	CLEIA	ELISA	全自動測定機器対応測定試薬への変更に伴う、検査方法、報告範囲、案内書備考欄の変更
		報告範囲 (単位)	NTx濃度: 部分尿 15未満、 15~99999999 (nmolBCE/L) クレアチニン 換算値: 変更はありません (nmolBCE/mmol・CRE)	NTx濃度: 部分尿 20以下、 21~99999999 (nmolBCE/L) クレアチニン 換算値: (クレアチニン濃度により異なる) ~999999.9 (nmolBCE/mmol・CRE)	
2670 4	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) (骨粗鬆症)	案内書 備考欄	午前中の第二尿をご提出ください。 血尿でのご提出は避け てください。	午前中の第二尿をご提出ください。	
0410 1	クレアチン	基準値 (単位)	血清 0.17~1.00 (mg/dL) 蓄尿 (変更はありません)	血清 0.31~1.10 (mg/dL) 蓄尿 M 0.20以下 F 0.43以下 (g/day)	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、基準値の変更
8042 1	抗セントロメア抗体	検査方法	CLEIA	ELISA	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、検査方法、基準値、報告範囲の変更
		基準値 (単位)	血清 10.0未満 (U/mL)	血清 10.0未満 (なし) 判定基準: 総合検査案内参照	
		報告範囲	2.0未満、2.0~ 499、500以上	5.0未満、5.0~ 299、300以上	
6188 7	特異的IgE (C-PAC16アレルゲン) アトピー性皮膚炎用	検査内容 (セット内アレルゲン)	スギ、ヤケヒョウヒダニ (ダニ1)、マラセチア (属)、カンジダ、ガ、 イヌのフケ、ネコのフケ、 ピーナッツ、小麦、カモ ガヤ、カニ、ソバ、大豆、 エビ、サバ、イワシ	スギ、ヤケヒョウヒダニ (ダニ1)、ピティロスポ リウム、カンジダ、ガ、 イヌのフケ、ネコのフケ、 ピーナッツ、小麦、カモ ガヤ、カニ、ソバ、大豆、 エビ、サバ、イワシ	測定試薬販売中止に伴う試薬(セット内アレルゲン)の変更
Y286 0	ラモトリギン	基準値 (治療濃度範囲)	2.5~15 ( $\mu\text{g}/\text{mL}$ )	(設定なし)	TDMガイドラインに基づいた基準値、採血時刻への変更
		採血時刻	次回投与直前 (Trough濃度)		
6462 3	トピラマート	基準値 (治療濃度範囲)	5~20 ( $\mu\text{g}/\text{mL}$ )	(設定なし)	TDMガイドラインに基づいた基準値、採血時刻への変更
		採血時刻	次回投与直前 (Trough濃度)		
6461 6	レベチラセタム	基準値 (治療濃度範囲)	12~46 ( $\mu\text{g}/\text{mL}$ )		
6452 8	ベプリジル	採血時刻	(削除)	投与後3時間(Peak値)	
0161 4	免疫電気泳動 (抗ヒト全血清による同定)	報告内容	(判定コメント) 日本語表記に統一	(判定コメント) 日本語表記と英語表記 混在	判定コメントの変更 (日本語表記に統一)

# 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	
01935	LD (LDH) アインザイム	案内書 備考欄	溶血でのご依頼は避けてください。(溶血の場合LDH1、2、3の上昇が考えられます。) LDH5が多く含まれる検体では、IFCC法に基づく分画値と乖離する場合があります。	溶血でのご依頼は避けてください。(溶血の場合LDH1、2、3の上昇が考えられます。)	IFCC測定法のIVD試薬が未販売の為、日本臨床化学会からの通達に準じた案内書備考欄の変更(注意書きの記載)	
09162	末梢血液一般検査	項目コード	0B036	09162	測定場所集約に伴う、項目コード、測定試薬、検査方法、報告範囲、測定実施場所の変更	
		検査方法	自動化法	半導体レーザーを使用したフローサイトメトリー法、シースフローDC検出方式、SLS-HGB法、他		
		測定実施場所	エスアールエルMUQS ラボラトリー (&3)	エスアールエル相模原 ラボラトリー (&L)		
		報告範囲	白血球数 (WBC)	100未満、 100～99999900 (/μL)		100以下、 200～9999000 (/μL)
			赤血球数 (RBC)	1未満、 1～99999999 (X10 <sup>4</sup> /μL)		0～9999000 (X10 <sup>4</sup> /μL)
			血色素量 (Hb)	0.1未満、 0.1～999999.9 (g/dL)		0.0～999.0 (g/dL)
			ヘマトクリット (HT)	0.2未満、 0.2～100.0 (%)		0.0～100.0 (%)
			MCV	0.0～999999.9 (fL)		0.0～999900.0 (fL)
			MCH	0.0～999999.9 (pg)		0.0～999900.0 (pg)
MCHC	0.0～999999.9 (%)		0.0～999900.0 (%)			
血小板数	0.2未満、 0.2～999999.9 (X10 <sup>4</sup> /μL)	0.0～999900.0 (X10 <sup>4</sup> /μL)				
09155	網状赤血球数	項目コード	0B029	09155	測定場所集約に伴う、項目コード、測定試薬、検査方法、報告範囲、測定実施場所の変更	
		検査方法	自動化法	半導体レーザーを使用したフローサイトメトリー法		
		測定実施場所	エスアールエルMUQS ラボラトリー (&3)	エスアールエル相模原 ラボラトリー (&L)		
		報告範囲	0～300 (%)	0～1000 (%)		
09275	好酸球数	項目コード	0B212	09275	測定場所集約に伴う、項目コード、測定試薬、検査方法、報告範囲、測定実施場所の変更	
		検査方法	自動化法	白血球数、白血球分類での計算法		
		測定実施場所	エスアールエルMUQS ラボラトリー (&3)	エスアールエル相模原 ラボラトリー (&L)		
		報告範囲	0～99999999	0～99990000		

## ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	
09123	血液像	項目コード	OA63 1	0912 3	測定場所集約に伴う、項目コード、項目名称、測定試薬、検査方法、容器、材料、検体量、保存、実施料、基準値、報告範囲、報告内容、検体取扱い方法記載内容、測定実施場所、案内書備考欄の変更  ※現分画子：白血球像その他4は削除となります。	
		項目名称 (案内書)	末梢血液像	血液像		
		項目名称	分画子 1	桿状核球		STAB
			分画子 2	分葉核球		SEG
			分画子 3	好中球		(設定なし)
			分画子 4	好酸球数		EOSIN
			分画子 5	好塩基球		BASO
			分画子 6	単球		MONO
			分画子 7	リンパ球		LYMPH
			分画子 8	骨髓芽球		(設定なし)
			分画子 9	前骨髓球		(設定なし)
			分画子 10	骨髓球		(設定なし)
			分画子 11	後骨髓球		(設定なし)
			分画子 12	異型リンパ球		(設定なし)
			分画子 13	赤芽球		(設定なし)
			分画子 14	OTHER1		白血球像その他1
			分画子 15	OTHER2		白血球像その他2
			分画子 16	OTHER3		白血球像その他3
			分画子 17	大小不同		SIZE
			分画子 18	多染性		COLR
			分画子 19	奇形		SHAPE
		検査方法	自動化法	MAY-Giemsa 重染色法		
		容器	PK2 (旧g) EDTA・2K入り	Z10 (旧t) プレパレート (スライドグラス) [オブジェクトケース]		
材料	血液	血液塗抹標本				
検体量	2 mL	2～3枚				
保存	冷蔵	室温				
実施料	15	25				
測定実施場所	エスアールエルMUQS ラボラトリー (&E)	エスアールエル相模原 ラボラトリー (&L)				

# 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容		新	現	備考
09123	血液像	桿状核球 (分画子 1)	基準値	0.0~6.0 (%)	0~6 (%)	測定場所集約に伴う、項目コード、項目名称、測定試薬、検査方法、容器、材料、検体量、保存、実施料、基準値、報告範囲、報告内容、検体取り扱い方法記載内容、測定実施場所、案内書備考欄の変更  ※現分画子：白血球像その他4は削除となります。
			報告範囲	0.0~100 (%)	0~100 (%)	
		分葉核球 (分画子 2)	基準値	32.0~73.0 (%)	32~73 (%)	
			報告範囲	0.0~100 (%)	0~100 (%)	
		好中球 (分画子 3)	基準値	40.0~74.0 (%)	(設定なし)	
			報告範囲	0.0~100 (%)	(設定なし)	
		好酸球数 (分画子 4)	基準値	0.0~6.0 (%)	0~6 (%)	
			報告範囲	0.0~100 (%)	0~100 (%)	
		好塩基球 (分画子 5)	基準値	0.0~2.0 (%)	0~2 (%)	
			報告範囲	0.0~100 (%)	0~100 (%)	
		単球 (分画子 6)	基準値	0.0~8.0 (%)	0~8 (%)	
			報告範囲	0.0~100 (%)	0~100 (%)	
		リンパ球 (分画子 7)	基準値	18.0~59.0 (%)	18~59 (%)	
			報告範囲	0.0~100 (%)	0~100 (%)	
		骨髓芽球 (分画子 8)	基準値	(設定なし)	(設定なし)	
			報告範囲	0.0~100 (%)	(設定なし)	
		前骨髓球 (分画子 9)	基準値	(設定なし)	(設定なし)	
			報告範囲	0.0~100 (%)	(設定なし)	
		骨髓球 (分画子 10)	基準値	(設定なし)	(設定なし)	
			報告範囲	0.0~100 (%)	(設定なし)	
		後骨髓球 (分画子 11)	基準値	(設定なし)	(設定なし)	
			報告範囲	0.0~100 (%)	(設定なし)	
		異型リンパ球 (分画子 12)	基準値	(設定なし)	(設定なし)	
			報告範囲	0.0~100 (%)	(設定なし)	
赤芽球 (分画子 13)	基準値	(設定なし)	(設定なし)			
	報告範囲	(設定なし)	(設定なし)			
OTHER1 (分画子 14)	基準値	(設定なし)	(設定なし)			
	報告範囲	(設定なし)	(設定なし)			
OTHER2 (分画子 15)	基準値	(設定なし)	(設定なし)			
	報告範囲	(設定なし)	(設定なし)			





## 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
2880 7	progesterone receptor (IHC)	項目コード	0A12 6	2880 7	
		報告書	汎用報告書	専用報告書	
		報告内容	画像添付の廃止、判定(陽性・陰性)、陽性占拠率のみを報告、画像報告とオールレッドスコア判定の有料化	報告書に画像添付、複数の判定報告コメント、オールレッドスコア判定対応	
2881 4	estrogen receptor / progesterone receptor (IHC)	項目コード	0A16 5	2881 4	報告書の統一化と併せ、報告内容の見直しに伴う、項目コード、報告書、報告内容の変更
		報告書	汎用報告書	専用報告書	
		報告内容	画像添付の廃止、判定(陽性・陰性)、陽性占拠率のみを報告、画像報告とオールレッドスコア判定の有料化	報告書に画像添付、複数の判定報告コメント、オールレッドスコア判定対応	
2848 3	breast cancer HER2/neu (IHC)	項目コード	0A20 7	2848 3	
		報告書	汎用報告書	専用報告書	
		報告内容	画像添付の廃止、スコア判定、判定(過剰発現の有無)のみを報告、画像報告の有料化、(添付文書改訂に伴い)最新のHER2検査ガイドラインの判定方法を採用	報告書に画像添付、複数の判定報告コメント	
6126 0	breast cancer HER2 (FISH)	項目コード	0A28 5	6126 0	
		報告書	汎用報告書	専用報告書	
		報告内容	画像添付の廃止、シグナル比、HER2平均コピー数、判定(増幅の有無)のみを報告、画像報告の有料化	報告書に画像添付、複数の判定報告コメント	
6177 4	gastric cancer HER2 (IHC)	報告内容	報告コメントの追加「癌細胞数が少ないため参考値です」	—	報告コメントの追加
2832 4	HIV antigen / antibody	所要日数	2~4	3~5	項目集約に伴う、所要日数、測定実施場所、報告書の変更
		測定実施場所	エスアールエルMUQS ラボラトリー (&E)	エスアールエル八王子 ラボラトリー	
		報告書	汎用報告書	親展報告書	
6541 9	IL28B SNPs analysis	項目コード	0A01 3	6541 9	システム変更に伴う、項目コード、報告書の変更
		報告書	汎用報告書	専用報告書	
5072 2	hydroxychloroquine	保存	冷蔵	凍結	保存温度の見直し
5737 2	lipid analysis (24 components)	保存	冷蔵	凍結	

## ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
5656 2	脂肪酸分画(4成分)	保存	冷蔵	凍結	保存温度の見直し
4758 9	IGF-1(ソマトメジンC) (ECLIA)	保存	冷蔵	凍結	
0118 8	副甲状腺ホルモン (PTH)-インタクト	保存	冷蔵	凍結	
6629 0	副甲状腺ホルモン (Whole PTH)	保存	冷蔵	凍結	
0826 4	カルシトニン	保存	冷蔵	凍結	
0127 6	カテコールアミン総	保存	冷蔵	凍結	
0129 1	カテコールアミン3分画 A: アドレナリン NA: ノルアドレナリン DA: ドーパミン	保存	冷蔵	凍結	
R631 7	メタネフリン・ ノルメタネフリン分画	保存	冷蔵	凍結	
0734 1	HVA (血漿・髄液)	保存	冷蔵	凍結	
0856 1	HVA (酸性蓄尿)	保存	冷蔵	凍結	
0736 6	VMA (血漿)	保存	冷蔵	凍結	
0134 0	VMA (酸性蓄尿)	保存	冷蔵	凍結	
0738 1	5-HIAA (血漿・髄液)	保存	冷蔵	凍結	
0133 2	5-HIAA (酸性蓄尿)	保存	冷蔵	凍結	
6556 1	HBV DNA定量 (IU)	保存	冷蔵	凍結	
6217 5	HCV RNA定量	保存	冷蔵	凍結	
6557 8	HIV-1RNA定量	保存	冷蔵	凍結	
2162 5	TSH刺激性 レセプター抗体 (TSAb)	保存	冷蔵	凍結	

## ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
04679	心筋トロポニンT	保存	冷蔵	凍結	保存温度の見直し
Y5162	sFit-1	保存	冷蔵	凍結	
Y5170	PIGF	保存	冷蔵	凍結	
38573	PGE-MUM	保存	冷蔵	凍結	
61164	TSBAb (TSHレセプター抗体 [阻害型])	保存	冷蔵	凍結	
63394	高分子量 アディポネクチン (CLEIA)	保存	冷蔵	凍結	
07895	CK-MB (CPK-MB) (免疫阻止-UV法)	保存	冷蔵	凍結	保存温度の見直し、基準値の詳細な情報を追加、案内書備考欄の変更
		基準値 (単位)	MB 25以下 TOTAL M 62~287 F 45~163 (U/L)	MB 25以下 (U/L)	
		案内書 備考欄	本項目は、TOTALの CK (CPK)の測定結果 も併せてご報告いたし ます。	(記載なし)	
62496	酸化LDL (MDA-LDL)	所要日数	3~14	3~5	所要日数の変更
69597	CA54/61	所要日数	3~7	3~6	
51660	クラミドフィラ (クラミジア) シッタシ IgG	所要日数	3~9	3~5	
51677	クラミドフィラ (クラミジア) シッタシ IgM	所要日数	3~9	3~5	
58827	抗IA-2抗体	所要日数	3~9	3~6	
65031	亜鉛トランスポーター8 (ZnT8)抗体	所要日数	事前にご確認ください	5~16	
28236	抗LKM-1抗体	所要日数	2~8	2~5	

## ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
2875 8	FLT3変異解析 ITD/TKD	保存 (安定性)	冷蔵(7日)	冷蔵(3日)	曜日指定を解除するため、案内書の保存安定性、案内書備考欄の変更
		備考欄	凍結保存は避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 本検査は、EDTA-2Na入り採血管(PN5)によるご提出も可能です。 &1	凍結保存は避けてください。受託可能日は月～金曜日です。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 本検査は、EDTA-2Na入り採血管(PN5)によるご提出も可能です。 &1	
8341 5	糖代謝解析	報告書	A4サイズ報告書	A5サイズ 複写3P報告書	(外注項目) 報告書統一のため
6484 9	タウ蛋白	報告書			
2344 6	消化状態	報告書			
0499 0	ミエリン随伴性糖蛋白 (MAG) 自己抗体	報告書			
2630 2	LHON ミトコンドリア DNA Evaluation	報告書			
6131 9	MELAS ミトコンドリア DNA Evaluation	報告書			
6132 6	MERRF ミトコンドリア DNA Evaluation	報告書			
6133 3	NARP ミトコンドリア DNA Evaluation	報告書			
—	細胞性免疫検査 (一部項目について)	報告書	報告書裏面印刷内容を削除させていただきます。 削除した裏面内容については、WEB版検査案内に掲載させていただきます。	報告書統一のため	
—	病理組織検査 (一部項目について)	報告書	返却物のトレーサビリティを確保するため、QRコードが報告書ヘッダー部分に追加されます。	QRコードの追加	
—	甲状腺機能検査	報告書	0629 9 「TSHレセプター抗体」の受託中止に伴い「甲状腺機能検査報告書」が変更されます。 「TSHレセプター抗体」を削除し、代替項目の「TSHレセプター抗体(第3世代)」の掲載位置を変更します。	受託中止項目 対応に伴う、報告書変更	

## ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
—	凝固検査(凝固検査用 検体取り扱いについて)	案内書 備考欄	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。	採血後、速やかに血漿分離してください。	案内書備考欄、欄外記載の変更（「凝固検査用検体のご提出方法」として遠心分離についての文章を追加） ※凝固検査検体取扱いに関するコンセンサスより抜粋
		欄外	(削除)	凝固検体取り扱いについて  凝固検体の取扱いについては、②ページをご参照ください。	
—	A00(旧X) ARR(旧r) ASS(旧i) AZZ(旧z) 使用項目	容器	容器コードA00(旧X)、ARR(旧r)、ASS(旧i)、AZZ(旧z)について新容器の取扱いを開始します。		新容器の取扱い開始、順次変更

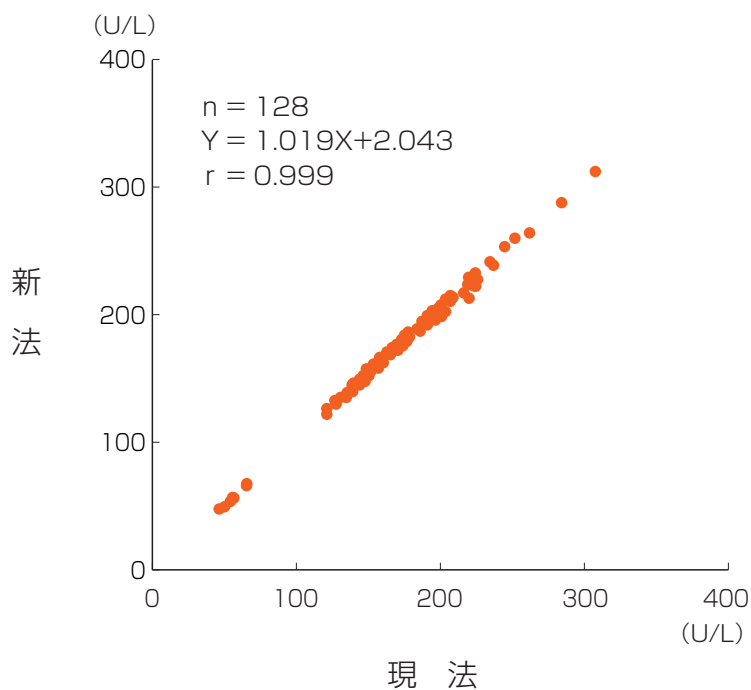
## ● LD (LDH)

日本臨床化学会より発表された常用標準法をIFCC法に変更する基本方針に基づき、IFCC法に準拠した測定試薬に変更させていただきます。

これに伴い、項目コード、項目名称、検査方法、基準値が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
0440 7	LD(LDH)	項目コード	X437 0	0440 7
		項目名称	LD(LDH) IFCC	LD(LDH)
		検査方法	IFCC標準化対応法	JSCC標準化対応法
		基準値 (単位)	124~222 (U/L)	115~245 (U/L)

### ▶ 現法と新法の比較



### ● 検査方法参考文献

Schumann, et al: Clin Chem Lab Med 49 (9) :1439~1446, 2011.

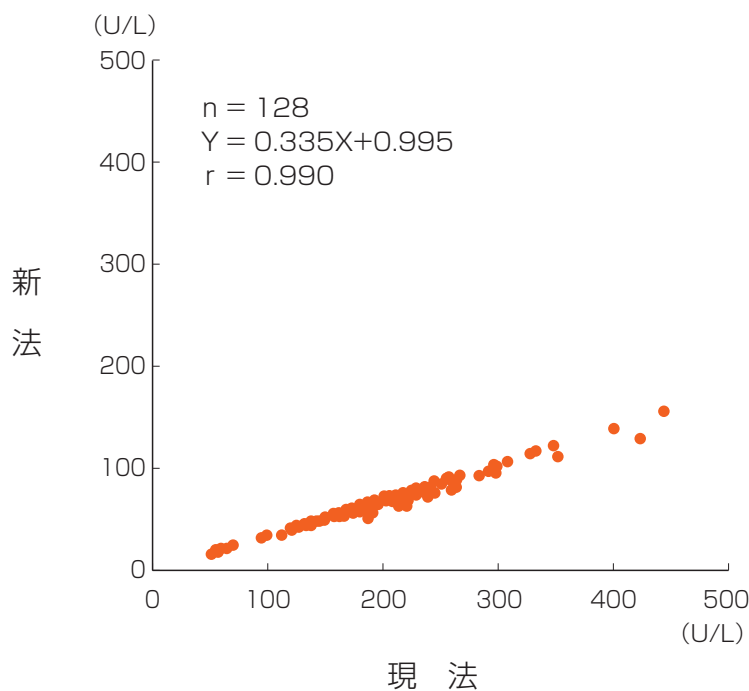
## ●アルカリフォスファターゼ (ALP)

日本臨床化学会より発表された常用標準法をIFCC法に変更する基本方針に基づき、IFCC法に準拠した測定試薬に変更させていただきます。

これに伴い、項目コード、項目名称、検査方法、基準値が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
0441 4	アルカリフォスファターゼ (ALP)	項目コード	X436 2	0441 4
		項目名称	アルカリフォスファターゼ (ALP) IFCC	アルカリフォスファターゼ (ALP)
		検査方法	IFCC標準化対応法	JSCC標準化対応法
		基準値 (単位)	38~113 (U/L)	115~359 (U/L)

### ▶ 現法と新法の比較



### ●検査方法参考文献

Schumann, et al: Clin Chem Lab Med 49 (9) :1439~1446, 2011.



# ALPアイソザイム

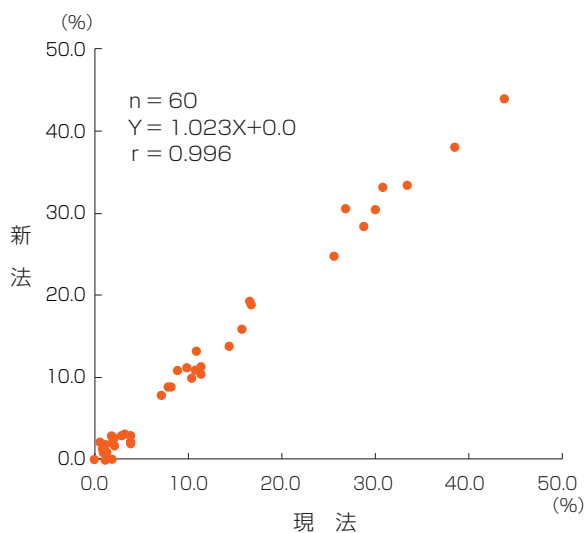
日本臨床化学会より発表された常用標準法をIFCC法に変更する基本方針に基づき、IFCC法に準拠した測定試薬に変更させていただきます。

これに伴い、項目名称、基準値が変更となります。

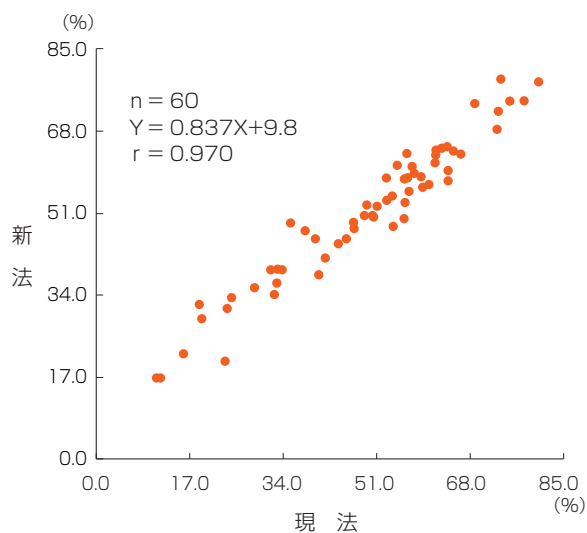
項目コード	検査項目	変更内容	新	現
01942	ALPアイソザイム	項目名称	ALPアイソザイム(IFCC)	ALPアイソザイム
		基準値 (単位)	ALP1 0.0~5.3 ALP2 36.6~69.2 ALP3 25.2~54.2 ALP5 0.0~18.1 (%)	ALP2 36~74 ALP3 25~59 ALP5 0~16 (%)
		報告範囲	0.0~100.0	0~100

## 現法と新法の比較

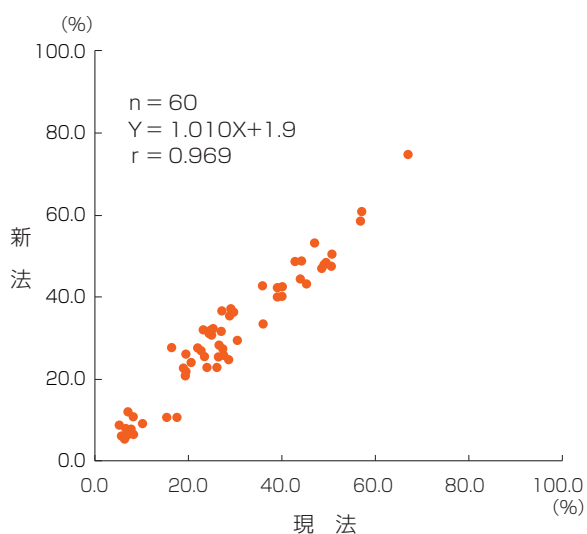
### ●ALP1



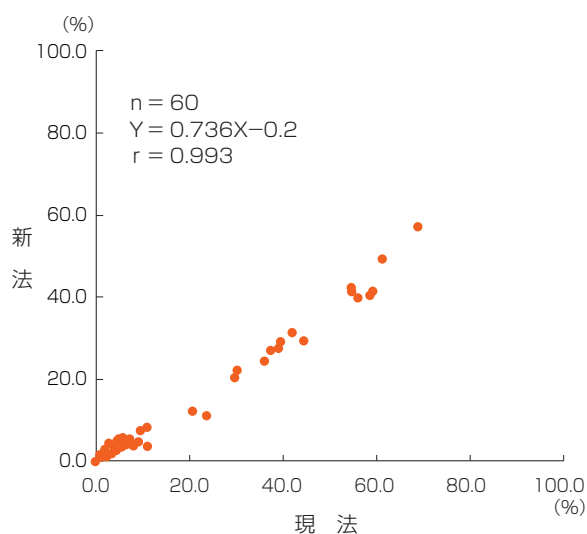
### ●ALP2



### ●ALP3



### ●ALP5



## ●検査方法参考文献

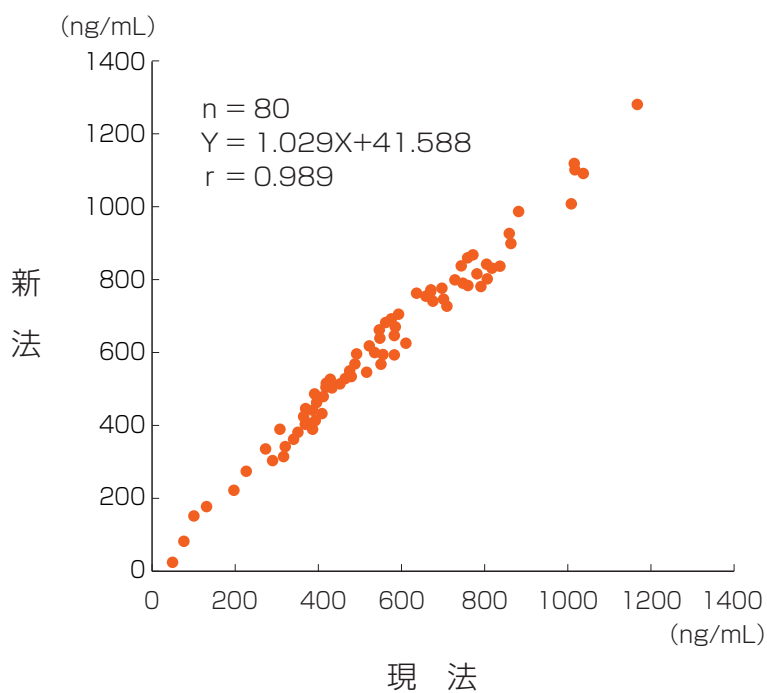
芝 紀代子：目でみる電気泳動法2（医歯薬出版）：55～71，1989.

## ●トリプシン

全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。  
これに伴い、項目コード、検査方法、基準値が変更、報告範囲が広がります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
01171	トリプシン	項目コード	0A503	01171
		検査方法	ラテックス凝集比濁法	ELISA
		基準値 (単位)	210~570 (ng/mL)	100~550 (ng/mL)
		報告範囲	30未満、 30~99900000	50未満、 50~99900000

### ▶ 現法と新法の比較



### ●検査方法参考文献

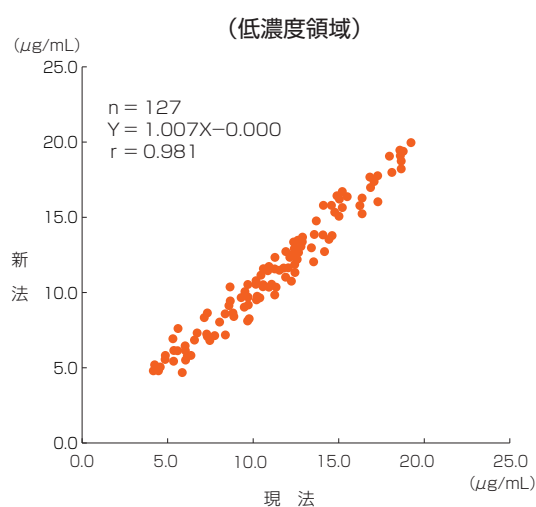
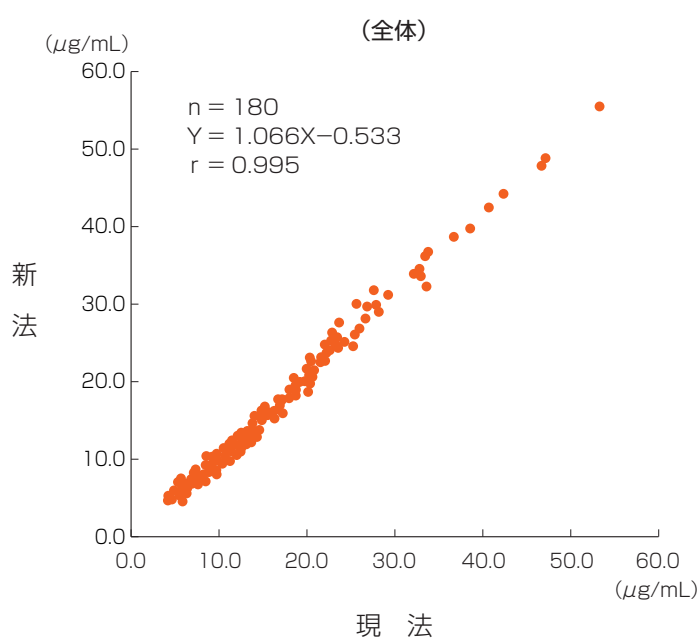
植田 進之介, 他: 医学と薬学77(12):1659~1668, 2020.

## ●バンコマイシン

全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。  
これに伴い、検査方法、報告範囲が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
04887	バンコマイシン	検査方法	ラテックス凝集比濁法	EIA
		報告範囲 (単位)	2.5未満、 2.5~999999.9 ( $\mu\text{g/mL}$ )	4.0未満、 4.0~999999.9 ( $\mu\text{g/mL}$ )

### ▶ 現法と新法の比較



### ●検査方法参考文献

石澤春美, 他: 栃木県臨床衛生検査技師会雑誌8(2):103~107, 2013.

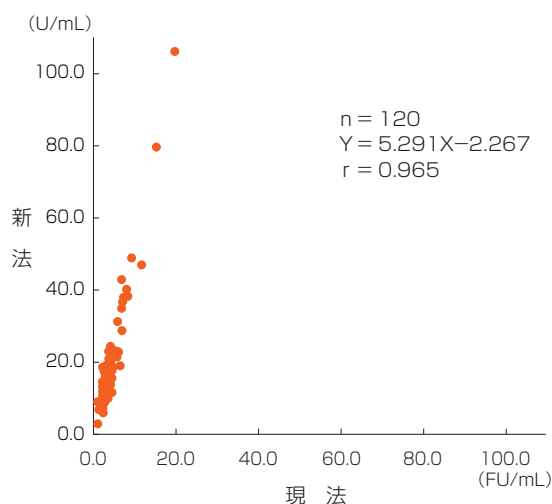
## ● トロンボモジュリン

全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。

これに伴い、項目コード、検査方法、材料、検体量、容器、単位、基準値、報告範囲、案内書備考欄、検体の取り扱い方法が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
0471 1	トロンボモジュリン	項目コード	0A00 6	0471 1
		検査方法	CLEIA	EIA
		材 料	血清、血漿	血清
		検 体 量	0.4 (mL)	0.3 (mL)
		容 器	血清 変更はありません 血漿 PC2(旧K) →A00(旧X)	血清 S09→A00(旧X)
		単 位	U/mL	FU/mL
		基 準 値	血清 12.1~24.9 血漿 8.7~22.7	M 2.1~4.1 F 1.8~3.9
		報告範囲	5.0未満、 5.0~199、200以上	1.0以下、 1.1~31.9、32.0以上
		案 内 書 備 考 欄	血清：(記載なし) 血漿：凝固検体取り扱いについては、 容器の取り扱い方法②ページ をご参照ください。	(記載なし)
		検体の取り 扱い方法	血漿：3.2%のクエン酸ナトリウム 0.2mLに血液1.8mLの割合で採 血し、転倒混和を5~6回繰り返 した後、速やかに血漿分離してく ださい。 血漿は必ず凍結保存してください。 (複数の検査項目をご依頼され る場合で、採血量が1.8mL以上 の場合、PC5の容器をご利用く ださい。)	(記載なし)

### ▶ 現法と新法の比較



### ● 検査方法参考文献

小野 真弓, 他: 日本臨床検査自動化学会誌38 (1) : 114~117, 2013.

## ● 便中ヘリコバクターピロリ抗原

国内シェア率の高い試薬へと変更させていただきます。  
これに伴い、検査方法、容器、案内書備考欄が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
2887 8	便中ヘリコバクター ピロリ抗原	検査方法	EIA	ELISA
		容 器	F20(旧d4)(※)	F70(旧d7)
		案 内 書 備 考 欄	必ず専用容器で採取して ご提出ください。	必ず専用容器で採取して ご提出ください。 凍結保存は避けてください。

(※)：容器記号を新設させていただきます。

### ▶ 現法と新法の比較

相関一致表

		ELISA (現法)		
		陰性	判定保留	陽性
EIA (新法)	陰性	16	0	0
	陽性	0	2	22

一致率(判定保留を除く)：100% n=40

### ● 検査方法参考文献

朝日 佳代子, 他: 医学と薬学 57(2):253~260, 2007.

# ループスアンチコアグラント (希釈ラッセル蛇毒時間法)

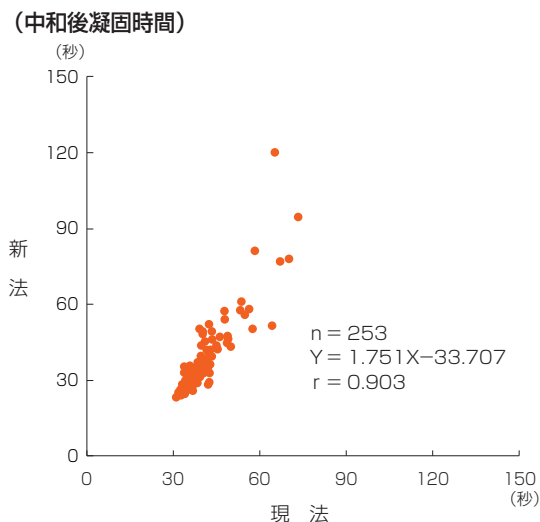
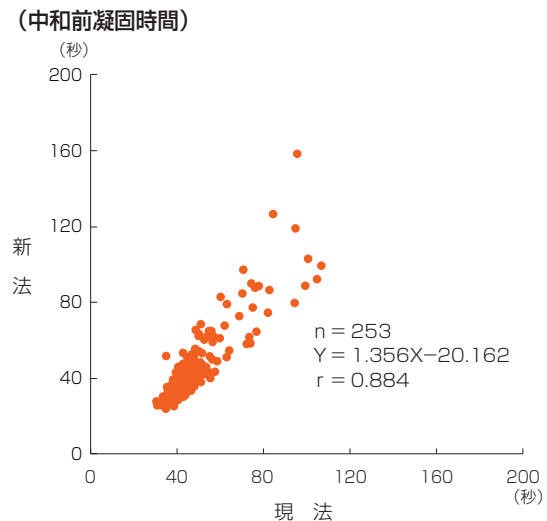
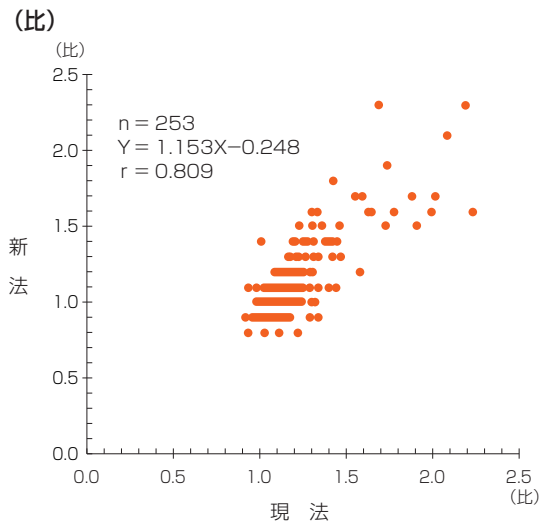
日本血栓止血学会の推奨法であるNormalized Ratioを使用し、同学会の推奨基準値と同等の基準値を採用している測定試薬へ変更いたします。

これに伴い、基準値、報告範囲、報告桁数が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
2651 1	ループスアンチコアグラント (希釈ラッセル蛇毒時間法)	基準値	1.2以下	1.3未満
		報告範囲	0.1~99.9 (中和前凝固時間) 16.0未満、16.0~239.9、 240.0以上(秒) (中和後凝固時間) 6.0未満、6.0~120.9、 121.0以上(秒)	0.07以下、0.08~14.99、 15.00以上 (中和前凝固時間) 10.0以下、10.1~149.9、 150.0以上(秒) (中和後凝固時間) 10.0以下、10.1~149.9、 150.0以上(秒)
		報告桁数 (※)	有効3、整数2、小数1	有効4、整数2、小数2

(※) : 比について、基準値表記と統一させていただきます。

## 現法と新法の比較



### ● 相関一致表

		現法	
		陰性 (-)	陽性 (+)
新法	陰性 (-)	194	9
	陽性 (+)	16	34

判定一致率: 90.1% n=253

## ● 検査方法参考文献

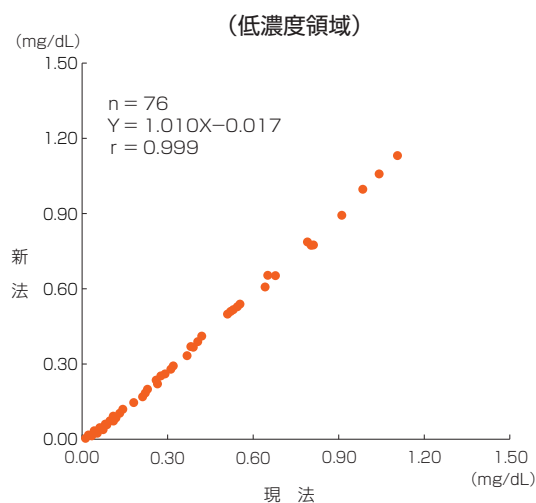
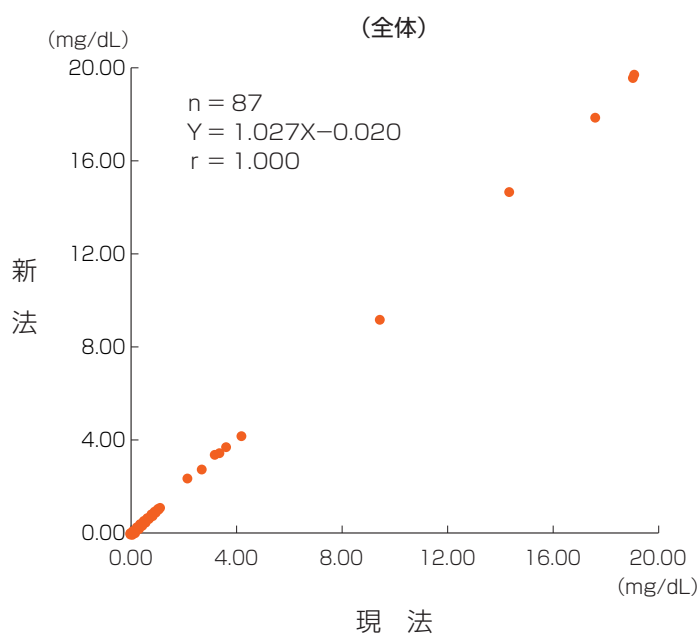
藤岡 貴: 医学と薬学 73 (5) : 621~626, 2016.

## ● C反応性蛋白 (CRP) 定量

現行試薬と比較し、高感度な測定試薬に変更させていただきます。  
これに伴い、項目コード、検査方法、基準値、報告範囲が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
5200 7	C反応性蛋白 (CRP) 定量	項目コード	0A51 1	5200 7
		検査方法	ラテックス凝集比濁法	ラテックス免疫比濁法
		基準値 (単位)	0.14以下 (mg/dL)	0.30以下 (mg/dL)
		報告範囲	0.005未満、 0.005~99900000	0.02未満、 0.02~99999.99

### ▶ 現法と新法の比較



● 検査方法参考文献：検索中

## ● I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)

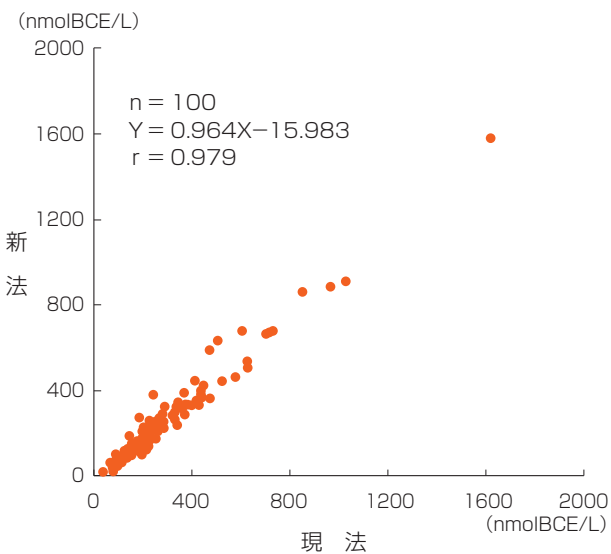
## ● I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) (骨粗鬆症)

全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。  
これに伴い、検査方法、報告範囲、案内書備考欄が変更となります。

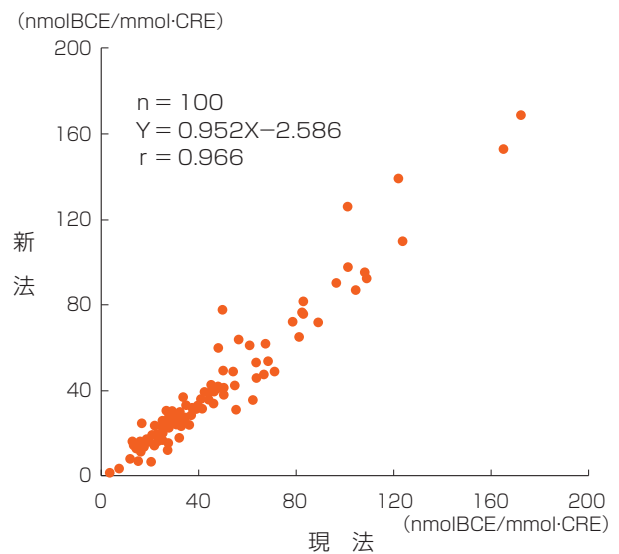
項目コード	検査項目	変更内容	新	現
2273 1	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)	検査方法	CLEIA	ELISA
		報告範囲 (単位)	NTx濃度: 部分尿 15未満、 15~99999999 (nmolBCE/L)  クレアチニン 換算値: 変更はありません (nmolBCE/mmol・CRE)	NTx濃度: 部分尿 20以下、 21~99999999 (nmolBCE/L)  クレアチニン 換算値: (クレアチニン濃度により異なる) ~999999.9 (nmolBCE/mmol・CRE)
2670 4	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) (骨粗鬆症)	案内書 備考欄	午前中の第二尿をご提出ください。 <u>血尿でのご提出は避けてください。</u>	午前中の第二尿をご提出ください。

### ▶ 現法と新法の比較

#### NTx濃度



#### クレアチニン換算値



● 検査方法参考文献：国内論文掲載予定



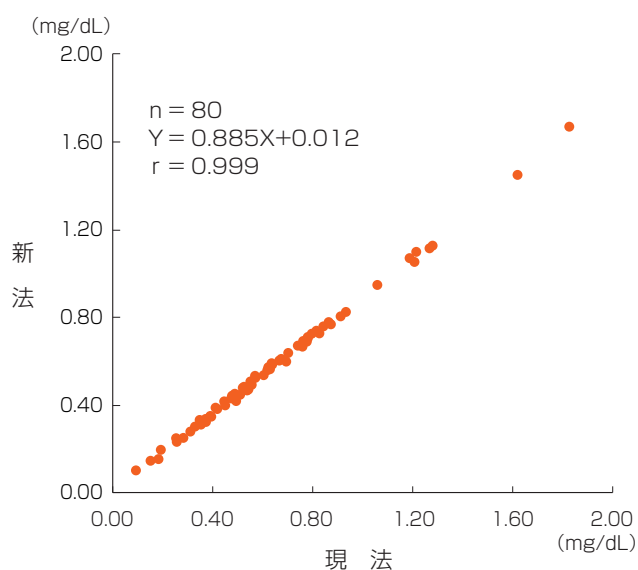
## ● クレアチン

測定試薬終売に伴い、代替試薬へ変更させていただきます。  
これに伴い、基準値が変更となります。

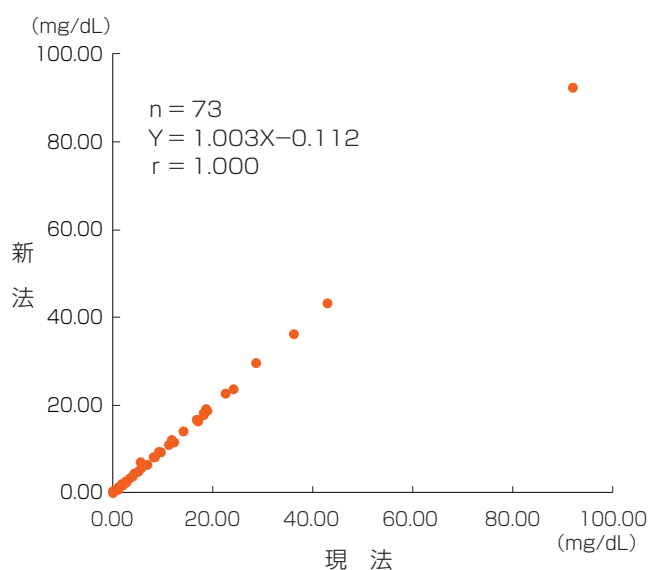
項目コード	検査項目	変更内容	新	現
04101	クレアチン	基準値 (単位)	血清 0.17~1.00 (mg/dL) 蓄尿 (変更はありません)	血清 0.31~1.10 (mg/dL) 蓄尿 M 0.20以下 F 0.43以下 (g/day)

### ▶ 現法と新法の比較

#### クレアチン血清



#### クレアチン尿



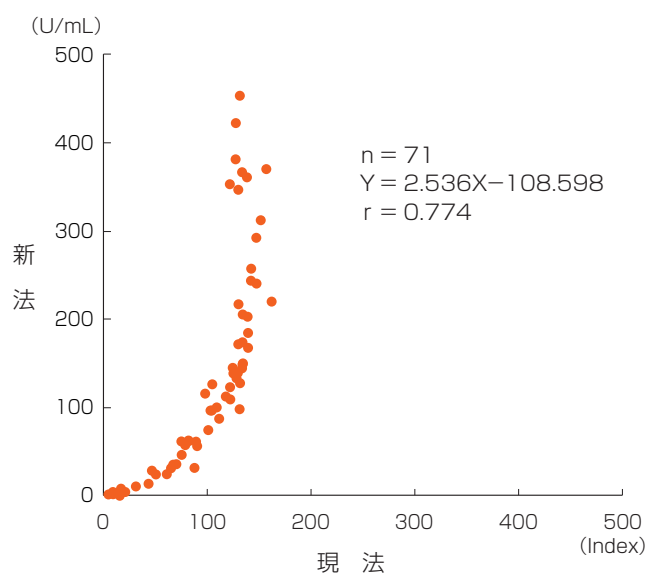
● 検査方法参考文献：検索中

## ●抗セントロメア抗体

測定試薬終売に伴い、代替試薬へ変更させていただきます。  
これに伴い、検査方法、基準値、報告範囲が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
8042 1	抗セントロメア抗体	検査方法	CLEIA	ELISA
		基準値 (単位)	10.0未満 (U/mL)	10.0未満 (なし) 判定基準：総合検査案内参照
		報告範囲	2.0未満、2.0～499、 500以上	5.0未満、5.0～299、 300以上

### ▶ 現法と新法の比較



### ● 相関一致表

		現法	
		陰性	陽性
新法	陰性	58	2
	陽性	0	91

判定一致率：98.7% n=151

### ● 検査方法参考文献

小島 和夫, 他: 医学と薬学 69 (3) : 677~687, 2013.

## ● 特異的IgE (C-PAC16アレルゲン) アトピー性皮膚炎用

測定試薬終売に伴い、セット内のアレルゲン「ピティロスポリウム」について代替試薬の「マラセチア(属)」へ変更させていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
61887	特異的IgE (C-PAC16アレルゲン) アトピー性皮膚炎用	検査内容	スギ、ヤケヒョウヒダニ(ダニ1)、マラセチア(属)、カンジダ、ガ、イヌのフケ、ネコのフケ、ピーナッツ、小麦、カモガヤ、カニ、ソバ、大豆、エビ、サバ、イワシ	スギ、ヤケヒョウヒダニ(ダニ1)、ピティロスポリウム、カンジダ、ガ、イヌのフケ、ネコのフケ、ピーナッツ、小麦、カモガヤ、カニ、ソバ、大豆、エビ、サバ、イワシ

## ● ラモトリギン、トピラマート、レベチラセタム、ベプリジル

TDMガイドラインに準じた基準値(治療濃度範囲)、採血時刻に変更させていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
Y2860	ラモトリギン	基準値 (治療濃度範囲)	2.5~15 ( $\mu\text{g}/\text{mL}$ )	(設定なし)
		採血時刻	次回投与直前 (Trough濃度)	(設定なし)
64623	トピラマート	基準値 (治療濃度範囲)	5~20 ( $\mu\text{g}/\text{mL}$ )	(設定なし)
		採血時刻	次回投与直前 (Trough濃度)	(設定なし)
64616	レベチラセタム	基準値 (治療濃度範囲)	12~46 ( $\mu\text{g}/\text{mL}$ )	(設定なし)
64528	ベプリジル	採血時刻	(削除)	投与後3時間(Peak値)

●エストロゲンレセプター (IHC) ●プロゲステロンレセプター (IHC)

●エストロゲンレセプター/プロゲステロンレセプター (IHC)

●乳癌HER2/neuタンパク (染色法) ●乳癌HER2遺伝子 (FISH)


報告書の統一化と併せ、報告内容の見直しをおこないます。

これに伴って、項目コード、報告書、報告内容を変更させていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
2879 7	エストロゲン レセプター (IHC)	項目コード	0A08 4	2879 7
		報告書	汎用報告書	専用報告書
		報告内容	画像添付の廃止、 判定(陽性・陰性)、陽性占拠率 のみを報告、画像報告とオール レッドスコア判定の有料化	報告書に画像添付、 複数の判定報告コメント、 オールレッドスコア判定対応
2880 7	プロゲステロン レセプター (IHC)	項目コード	0A12 6	2880 7
		報告書	汎用報告書	専用報告書
		報告内容	画像添付の廃止、 判定(陽性・陰性)、陽性占拠率 のみを報告、画像報告とオール レッドスコア判定の有料化	報告書に画像添付、 複数の判定報告コメント、 オールレッドスコア判定対応
2881 4	エストロゲン レセプター/ プロゲステロン レセプター (IHC)	項目コード	0A16 5	2881 4
		報告書	汎用報告書	専用報告書
		報告内容	画像添付の廃止、 判定(陽性・陰性)、陽性占拠率 のみを報告、画像報告とオール レッドスコア判定の有料化	報告書に画像添付、 複数の判定報告コメント、 オールレッドスコア判定対応
2848 3	乳癌 HER2/neu タンパク (染色法)	項目コード	0A20 7	2848 3
		報告書	汎用報告書	専用報告書
		報告内容	画像添付の廃止、 スコア判定、判定(過剰発現の 有無)のみを報告、 画像報告の有料化、 (添付文書改訂に伴い)最新の HER2検査ガイドラインの判 定方法を採用	報告書に画像添付、 複数の判定報告コメント
6126 0	乳癌HER2 遺伝子 (FISH)	項目コード	0A28 5	6126 0
		報告書	汎用報告書	専用報告書
		報告内容	画像添付の廃止、 シグナル比、HER2平均コ ピー数、判定(増幅の有無)の みを報告、 画像報告の有料化	報告書に画像添付、 複数の判定報告コメント

# 報告書比較

(新報告書見本)



## 検査報告書

1210-1223 〒100-0004  
287-04-28707-60004

\*最終報告 1

SRLシステム (10) HP (汎用) 院 検出機 先生  
科名 NA7 外来 高橋 高橋  
その他

テスト\_タマリ 院 男性 35 歳 受付No 100001  
カルテNo 採取日 12月05日


受付日 02年12月10日  
報告日 02年12月21日

検査項目	結果	判別	コメント	単位	基準値
HER2/neuタンパク (染色法)	(1+)	99	&D		
スコア判定	発現なし				
判定	発現なし				
病理専門医によるレビュー	実施済み	A			
HER2遺伝子 (FISH)	1.0	99	&D		
シグナル比	増幅なし				
判定	増幅なし				
HER2平均コピー数	3.0				
病理専門医によるレビュー	実施済み	A			

コメント A 判定匿名  
コメント A 判定匿名


ご報告は 完了です

医療機関専用問い合わせ先 (データインフォメーション)  
TEL: 042-646-5911 検査責任者 和田 かつり



株式会社 エスアールエール  
八王子店 東京都八王子市小瀬町1-1-1  
TEL: 042-646-5911

(現報告書見本)



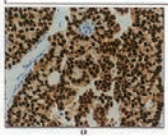
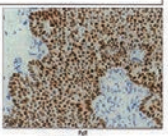
### 病理検査報告書

0120-0204 〒100-0004  
287-04-28707-60004

院 検出機 先生  
科名 NA7 外来 高橋 高橋  
その他

HER2/neuタンパク (染色法)

検査項目	結果	判別	コメント
HER2/neuタンパク (染色法)	(1+)	99	&D
スコア判定	発現なし		
判定	発現なし		
病理専門医によるレビュー	実施済み	A	


HER2/neuタンパク染色法 (IHC)

検査項目	結果	判別	コメント
スコア判定	陽性		
判定	陽性		
HER2/neuタンパク過剰発現	あり		

【コメント】

HER2/neuタンパク染色法 (IHC) 陽性 (1+) あり。HER2/neuタンパク過剰発現あり。

医療機関専用問い合わせ先 (データインフォメーション)  
TEL: 042-646-5911



株式会社 エスアールエール  
八王子店 東京都八王子市小瀬町1-1-1  
TEL: 042-646-5911



### 病理検査報告書

0120-0204 〒100-0004  
287-04-28707-60004

院 検出機 先生  
科名 NA7 外来 高橋 高橋  
その他

HER2/neuタンパク (染色法)

検査項目	結果	判別	コメント
HER2/neuタンパク (染色法)	(1+)	99	&D
スコア判定	発現なし		
判定	発現なし		
病理専門医によるレビュー	実施済み	A	




HER2/neuタンパク染色法 (IHC)

検査項目	結果	判別	コメント
スコア判定	3+		
判定	あり		
HER2/neuタンパク過剰発現	あり		


【コメント】

HER2/neuタンパク染色法 (IHC) 陽性 (3+) あり。HER2/neuタンパク過剰発現あり。

医療機関専用問い合わせ先 (データインフォメーション)  
TEL: 042-646-5911



株式会社 エスアールエール  
八王子店 東京都八王子市小瀬町1-1-1  
TEL: 042-646-5911



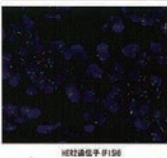
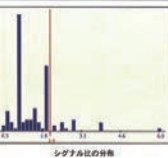
### 病理検査報告書

0120-0204 〒100-0004  
287-04-28707-60004

院 検出機 先生  
科名 NA7 外来 高橋 高橋  
その他

HER2/neuタンパク (染色法)

検査項目	結果	判別	コメント
HER2/neuタンパク (染色法)	(1+)	99	&D
スコア判定	発現なし		
判定	発現なし		
病理専門医によるレビュー	実施済み	A	


HER2/neuタンパク (FISH)

検査項目	結果	判別	コメント
シグナル比	1.4		
判定	増幅なし		

【コメント】

HER2/neuタンパク (FISH) シグナル比 1.4 あり。HER2/neuタンパク増幅なし。

医療機関専用問い合わせ先 (データインフォメーション)  
TEL: 042-646-5911



株式会社 エスアールエール  
八王子店 東京都八王子市小瀬町1-1-1  
TEL: 042-646-5911

# HIV抗原・抗体

実施項目の測定実施場所集約をおこないます。  
これに伴い、所要日数、測定実施場所、報告書を変更させていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
2832 4	HIV抗原・抗体	所要日数	2~4	3~5
		測定実施場所	エスアールエルMUQS ラボラトリー (&3)	エスアールエル八王子 ラボラトリー
		報告書	汎用報告書	親展報告書

## 報告書比較

### 〈新報告書見本〉

**SRL** 検査報告書 0805-0806 1  
287-04-28707-60004

SRLシステム (10) HP (汎用) 種別: 検査 発注  
氏名: 野村 外来 性別: 男性 年齢: 35歳 受付日: 100001  
住所: 000210000 探知日: 08月05日  
身長: 174cm 体重: 87.4kg  
受付日: 02年12月20日  
検出日: 02年12月21日

検査項目	結果	コメント	単位	基準値
HIV抗原・抗体	02			

ご報告は 完了です

医療検査局有限会社 (アールエルエム) TEL: 042-646-5911 検査責任者 野村 伸也

**エスアールエル** 株式会社 エスアールエル  
八王子 東京都八王子市小幡1-1-1

### 〈現報告書見本〉

0201-0405 1 検査報告書 0201-0405 1  
000-00000-00-00000 000-00000-00-00000

氏名: 野村 伸也 性別: 男性 年齢: 35歳 受付日: 100000  
住所: 000000000 探知日: 09月08日  
身長: 174cm 体重: 87.4kg  
受付日: 02年12月20日  
検出日: 02年12月21日

検査項目	結果	コメント	単位	基準値
HIV Ag-Ab	陰性			

ご提出依頼

「検査結果」はおもて面よりご開封下さい

**見本**

裏面をめくると「検査の進め方」等の情報が記載されております

この面をめくると「検査の進め方」等の情報が記載されております

**エスアールエル** 株式会社 エスアールエル  
八王子 東京都八王子市小幡1-1-1

# ● IL28B SNPs 解析

システム変更に伴い、項目コード、報告書の変更をさせていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
6541 9	IL28B SNPs 解析	項目コード	0A01 3	6541 9
		報告書	汎用報告書	専用報告書

## ▶ 報告書比較

〈新報告書見本〉

**SRL 検査報告書** 0901-0915 287-01-28708-60004

SRLシステム (10) HP (汎用) 検査項目: IL28B SNPs 解析

患者情報: 性別 M, 年齢 55, 性別 男性, 検査日 11月10日

検査項目	結果	コメント	単位	標準値
IL28B SNPs 解析				
rs8099917	メジャーホモ接合体			
rs11881222	メジャーホモ接合体			
rs8103142	メジャーホモ接合体			

ご報告は完了です

〈現報告書見本〉

**SRL 検査報告書** 11-04-01 000-00-00000-00000

氏名: 山田 太郎, 性別: M, 年齢: 55, 検査日: 04月01日

検査項目: IL28B SNPs解析

【結果】

下記の通り判定いたしました

dbSNP ID	判定結果
rs8099917	メジャーホモ接合体
rs11881222	メジャーホモ接合体
rs8103142	メジャーホモ接合体

(遺伝子多型パターン)

rs8099917	メジャーホモ接合体	ヘテロ接合体	マイナーホモ接合体
rs8099917	1/T	1/G	6/G

(方法)

DNA抽出
PCR
インベーター反応
判定

# 甲状腺機能検査報告書

「TSHレセプター抗体」の受託中止に伴い、「甲状腺機能検査報告書」の「TSHレセプター抗体」を削除し、代替項目の「TSHレセプター抗体(第3世代)」の掲載位置を変更させていただきます。

## 報告書比較

### 〈新報告書見本〉

**SRIL** 甲状腺機能検査報告書

検査項目: 甲状腺刺激ホルモン(TSH), 遊離トリヨードサイロニン(Free T<sub>3</sub>), 遊離サイロキシニン(Free T<sub>4</sub>), トリヨードサイロニン(T<sub>3</sub>), サイロキシニン(T<sub>4</sub>), **TSHレセプター抗体(第3世代)**, TSHレセプター抗体(旧型), TSH刺激性セプター抗体(TSAb), 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体, 抗甲状腺グロブリン抗体, 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体, 抗マイクログロブリン抗体, サイログロブリン, TBG

甲状腺機能状態:  機能亢進,  機能低下,  甲状腺炎,  甲状腺腫,  機能正常,  検定できず未判定

品治療前の主要疾患診断フロー: 機能亢進状態 → TSHレセプター抗体 → 甲状腺炎 → 甲状腺腫 → 甲状腺機能亢進症 → 甲状腺機能低下症 → 甲状腺機能正常

### 〈現報告書見本〉

**SRIL** 甲状腺機能検査報告書

検査項目: 甲状腺刺激ホルモン(TSH), 遊離トリヨードサイロニン(Free T<sub>3</sub>), 遊離サイロキシニン(Free T<sub>4</sub>), トリヨードサイロニン(T<sub>3</sub>), サイロキシニン(T<sub>4</sub>), **TSHレセプター抗体**, TSH刺激性セプター抗体(TSAb), 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体, 抗甲状腺グロブリン抗体, 抗マイクログロブリン抗体, サイログロブリン, TBG

甲状腺機能状態:  機能亢進,  機能低下,  甲状腺炎,  甲状腺腫,  機能正常,  検定できず未判定

品治療前の主要疾患診断フロー: 機能亢進状態 → TSHレセプター抗体 → 甲状腺炎 → 甲状腺腫 → 甲状腺機能亢進症 → 甲状腺機能低下症 → 甲状腺機能正常



2021年3月2日

2021年4月方法変更 NEWS（印刷物）の修正について

【誤記載の修正事項】

ページ	項目	箇所	正	誤
11	カルシトニン	保存	凍結	冷蔵
	HCV RNA 定量			
	HBV DNA 定量(IU)			
	HIV-1RNA 定量			

保存条件について凍結から冷蔵への変更を予定しておりましたが、変更は実施いたしません。  
凍結保存を継続いたします。

以上